

さんようおのだ 議会だより

2016.11

27年度決算認定	—	2
議員定数	—	4
委員会レポート	—	5
一般質問	—	9
議決結果	—	13



長門市議会との
意見交換

次につながる事業展開を！

9月2日から始まった9月定例会は、平成27年度決算を中心に補正予算など28の議案が提案されました。なお学校給食センターに関連する8議案については、政府の交付金が受けられる見通しとなったため、議案が撤回されました。

■平成27年度一般会計決算

●歳入総額	264億5614万円（昨年度比△34億円）
●歳出総額	256億6493万円（昨年度比△36億円）
●次年度繰越金	7億7731万円

決算審査に当たって事前にピックアップした53の事業について集中的に審査しました。

主な事業評価での議論

厚狭地区複合施設

問 駐車場の段差（ハンプ）を車が迂回している。撤去要望は。

答 撤去要望は数件あるが、駐車場内での接触事故の可能性もあり、設置は必要である。

問 体育館の空調やトイレの苦情は。

答 体育館の室温、湿度等を測定しており空調は検討課題だ。トイレが少なく、暖房便座ではないという声もある。



新火葬場建設

問 基本設計のコンセプトは。

答 5つの火葬炉を一行とせず、3つの告別・収骨室のブースを設け、それぞれの遺族が直接対面しないよう、炉の数に合わせて待合室を5つの個室に分けて配置したい。

プロモーションビデオ

問 プロモーションビデオが移住ナビに掲載されたが、閲覧の人数は。移住の対応などは。

答 閲覧の全国順位は15位となっている。移住の相談は2件で、移住などの受け入れ対策は、体制も含めて今後の課題である。

マイナンバー制度

問 通知カード、個人番号カードの発行状況は。

答 受取拒否等で市が保管している通知カードは584件で、個人番号カードの発行件数は4327件で人口の6.7%となっている。



ビデオのワンシーン

一 行政運営に厳しい注文をつけました 一

決算審査において質疑を終えた後、委員会で自由討議をし、行政への注文として附帯決議を全会一致で可決しました。

議員間の自由討議

- * 何のための「事業評価」なのか、各担当者が理解できていない。
- * 事業終了後の総括が不十分で、次の事業につなげるための目標設定がされていない。
- * 執行部間にヨコのつながりがなく、夕テ割り行政の弊害が出ている。
- * 担当者の経験が浅く、柔軟な対応ができていないため、硬直した解釈や事業運営になっている。人事異動の弊害か。
- * 財政健全化に向けての努力は評価したい。

附帯決議

「事業の目的が不明確」、「手段と目的を混同」、「効果の検証が不十分」など、事務事業評価制度が有効に活用されていない事例が多く見られた。

については、事務事業評価制度の統一的な運用を徹底するとともに、事業が市民のためになっているかを検証し、「活力ある住みよさ創造都市」の実現に結びつくよう一丸となって取り組むこと。

反対 討論

山口東京理科大学の問題では、市民本位と言いながら、市民への説明責任が欠けている。決算審査を通じて担当課の自信のなさが、際立っていたが、人事行政の失敗ではないか。

結果

賛成多数

■ 平成 28 年度一般会計補正予算

薬学部建設に係る補正予算を可決

今回の補正は歳入歳出総額を 35 億 9211 万 9000 円増額するもので、その主なものとして山口東京理科大学薬学部校舎建設事業費など 34 億 4230 万円です。

なお、薬学部校舎建設は 3 年分で 118 億 9246 万 6000 円となり、平成 30 年春の開学を目指すものです。

問 当初は 110 億円と言っていたのに、なぜ 120 億円に膨れたのか。

答 用地購入や校舎面積の拡大により、予算規模が膨らんだ。

討論

反対

山口東京理科大学の問題は、市民への説明責任が果たされていない。

賛成

場所は不満だが、市の活性化に薬学部設置は重要だ。

結果

賛成多数



薬学部校舎完成予想図

次の選挙から

議員定数「22人」に！

本市議会の議員定数について議会のあり方調査特別委員会で検討し、「次の一般選挙から議員定数を22人」とすることで委員全員が一致しました。

検討結果

- ① 常任委員会の数は3つ
(一般会計予算決算常任委員会は除く)
- ② 十分な審査に必要な委員数は7人か8人
- ③ 議長は中立的な立場であるため、常任委員会に所属しない



「3委員会×7人+議長=22人」

「3委員会×8人+議長=25人」

これまでの議員定数条例

25人が理想であるが、条例定数は24人のままとするも、当分の間22人とする。



結論

議会の機能向上のためには、「25人」が理想であるが、現状においては、現定数、本市の人口規模などを勘案した結果、「22人」が適当である。

本会議
反対討論

議員報酬を見直し、専門知識を備えた少数精鋭が生まれる環境をつくるため、19人で議会の姿勢を示すべきだ。

本会議
結果

賛成多数

◎改革を次々に具体化

～議会のあり方調査特別委員会～

本委員会では議会が監視機能や政策立案機能を最大限に発揮するためにどうあるべきかについて、議員定数の検討を含め、平成26年3月以降、24回にわたり議論を重ねてきました。

その検討結果に基づき、実施した主なものを紹介します。

◆議会資料の公開

議会での審議内容を深く理解してもらうため、議案など議会資料を傍聴者に配布するとともに、市議会ホームページでも公開しています。

◆委員会中継

議会の情報公開を促進するため、委員会の審査状況をインターネットを利用して、中継（ライブ・録画）しています。

◆市議会フェイスブック

議会情報の迅速な発信のため、市議会のフェイスブックページを開設し、本会議や委員会の開催のお知らせや議会報告会のご案内などを行っています。





委員会レポート

■ 総務文教常任委員会

特別会計

● 27年度オート事業会計決算

早急に返済計画を

概要 歳入総額 69億 2916万 4720円、歳出総額 78億 6136万 6086円で差し引き 9億 3220万 1366円の不足となりました。このため、平成 28 年度の歳入を繰り上げてこれに充てています。(繰上充用)

日本写真判定(株)に対する包括的民間委託料は 5億 2465万 6286円(走路改修分 7500万円含む)、地域公益事業は 807万 2800円で、中央福祉センターの給湯器増設工事、下津・出合・津布田・厚陽保育園のトイレ洋式化、なるみ園の床改修工事、高泊小学校のプール改修工事、下津保育園のエアコン取付工事などを行いました。

また、3つの累積債務(1・2号交付金猶予額・リース料・累積赤字額)は、1153万 8727円減少し、19億 7833万 4920円となりました。

なお、包括民間委託の契約は平成 28 年度が最終年度ですが、委託先から継続の意向が示されているとのことです。

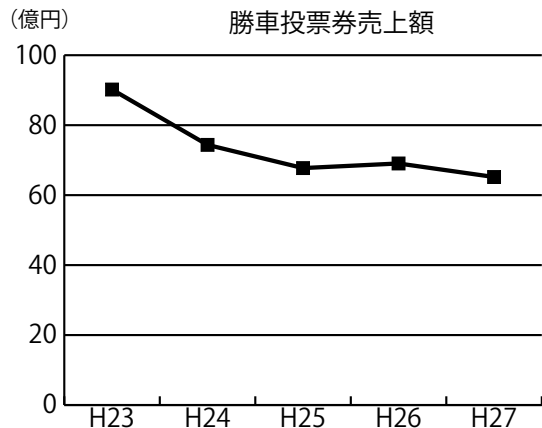
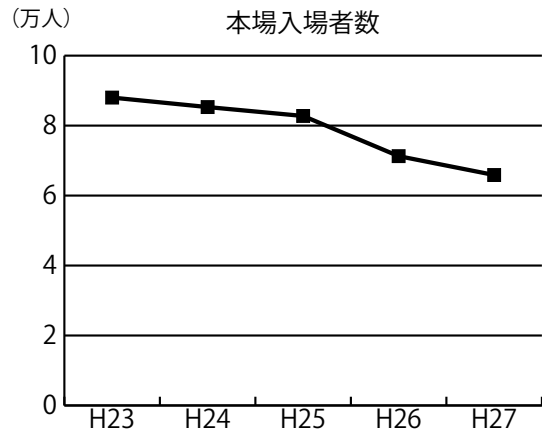


← 改修された走路

主な論点 「払戻率の変更は」との質問に「本場は特別 G 1 プレミアムカップで 2 連勝単式の払戻率を 70% から 80% にした。効果を検証し、さらに協議を進めている」また「売上減少の主な理由は」との質問に「26 年度はお盆開催であったが、27 年度は 8 月末の開催となったこと、事故によるレース不成立及び雪により 1 日開催日が減少となったこと」との答弁がありました。

また、以前から委員会として求めている債務の返済計画については、「新たな収益向上の施策等、現在進行形で動いており、それらを踏まえて計画を出したい」とのことでした。

結果 賛成多数





委員会レポート

■ 民生福祉常任委員会

特別会計

● 27 年度国民健康保険会計決算

広域化への準備はできているか

概要 歳入総額 87 億 8215 万 3520 円、歳出総額 86 億 3094 万 9952 円で、差し引き 1 億 5120 万 3568 円の黒字となりました。

主な論点 「ジェネリック医薬品による医療費削減効果は」との質問に「保険者の負担額ベースで年間約 312 万円の効果が出ている」また「平成 30 年度の県広域化にあたり収納率を上げる取り組みは」との質問に「収納係を 1 名増員し 3 名で対応している」との答弁がありました。

結果 全員賛成

● 27 年度介護保険会計決算

百歳体操に力を注いでいる

概要 歳入総額 58 億 9201 万 8850 円、歳出総額 57 億 2139 万 6287 円で、差し引き 1 億 7062 万 2563 円の黒字となりました。

主な論点 「一次予防事業の百歳体操の現状と目標は」との質問に「現在 23 カ所で年間 12 カ所程度は増やしていきたい」また「滞納状況は」との質問に「423 件で 2386 万 1266 円の滞納額がある」また「滞納者に利用制限はないのか」との質問に「遅れながらも納めているので、ペナルティは課していない」との答弁がありました。

結果 全員賛成



企業会計

● 27 年度病院事業決算

入院外来とも予定に届かず

概要 一般会計からの特別繰入金 2 億 9700 万円を含んだ収益が 41 億 9240 万 103 円、費用が 41 億 350 万 9455 円で、差し引き 8889 万 648 円の黒字となりました。

主な論点 「内科の待ち時間対策は」との質問に「呼び出しフォンを試行している。近々導入する」また「予算と比較して入院患者と外来患者の実績は」との質問に「当初予算で入院患者は 183 人としたが、決算では 178 人となり、病床稼働率は 85.1% から 82.8% となった。外来患者は当初予算では 500 人としたが、決算では 430 人となった」との答弁がありました。

結果 全員賛成

その他

● 建物等の取得（子育て総合支援センター）

子育て支援策の目玉となるか

概要 小野田駅北側の旧小野田労働基準監督署とその土地などを国から購入するもので、取得価格は 6597 万 3000 円です。

主な論点 「エレベーターの設置は」との質問に「要望があることは承知している。検討はしている」また「改修費 3000 万円の内訳は」との質問に「キッズキッチンの設置、床の張替え、幼児用トイレの新設などである」との答弁がありました。

結果 全員賛成



委員会レポート

■ 産業建設常任委員会

所管事務調査

●山陽小野田市污水处理施設整備構想

公共下水道の普及率は52%

下水処理普及率の現状

公共下水道52.0%、農業集落排水施設2.8%、個人設置型浄化槽24.4%で、未整備は20.8%である。

排水施設の老朽化により、長寿命化対策や更新で、下水道普及の管路整備工事費用が減少し、年間の下水道普及率の増加目標が1.0%から0.5%となる。

今後の課題

- ・排水処理施設への早期接続が必要
- ・公共下水道汚水施設から発生する汚泥の有効利用
- ・合併浄化槽への転換促進
- ・排水処理施設の老朽化により、長寿命化や更新に多額の費用が必要

污水处理施設構想の内容

人口減少と効率性の比較を基に行ったものである。本市の将来人口は減少が続き、平成52年度には現在から2割減少となる。

また、国土交通省、農林水産省、環境省の3省庁合同のガイドラインによる経済比較を基に将来的に污水处理方法（公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽等）を検討した。

その結果から主な見直し地域と内容は、小野田西地区は農業集落排水処理施設の老朽化により、公共下水道へ接続する。不動寺原地区においては、合併浄化槽処理区域に設定した。

●水道広域化事業

宇部市との水道広域化は協議中

本市水道事業は、単年度では平成27年度決算で1.8億円余りの黒字となっているが、今後、浄水場施設や管路の老朽化による更新が迫られている。

水道局がアセットマネジメント（資産管理）をし、その結果、40年間で240億円の更新費用の試算が出ている。

広域化を実施するための国の補助金がないために多額の負担がかかること、厚東川と厚狭川の配水系が異なることなど課題も多いが、宇部市との広域化は将来を見据えた対策の一つである。

特別会計

●27年度駐車場事業会計決算

利用台数は増加傾向

概要 歳入総額4189万154円、歳出総額2396万6426円で、差し引き1792万3728円の黒字となりました。利用台数は前年より1165台の増で、3万6194台となりました。

主な論点 「28年度以降の公債費残額は」との質問に「4416万4614円である」また「稼働率は」との質問に「54%である」また「駐車場出口が分かりづらい」との質問に「同様の要望もあるので検討していく」との回答がありました。

結果 全員賛成





委員会レポート

■ 山口東京理科大学薬学部設置促進 並びに利活用調査特別委員会

●土地の取得

宇部市の土地を購入

概要 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部校舎、駐車場等を整備するため、現在、本市と宇部市との間で使用貸借契約を結び、大学の学校用地として無償で使用している土地を宇部市から取得するものです。

土地面積 3万2261.12㎡

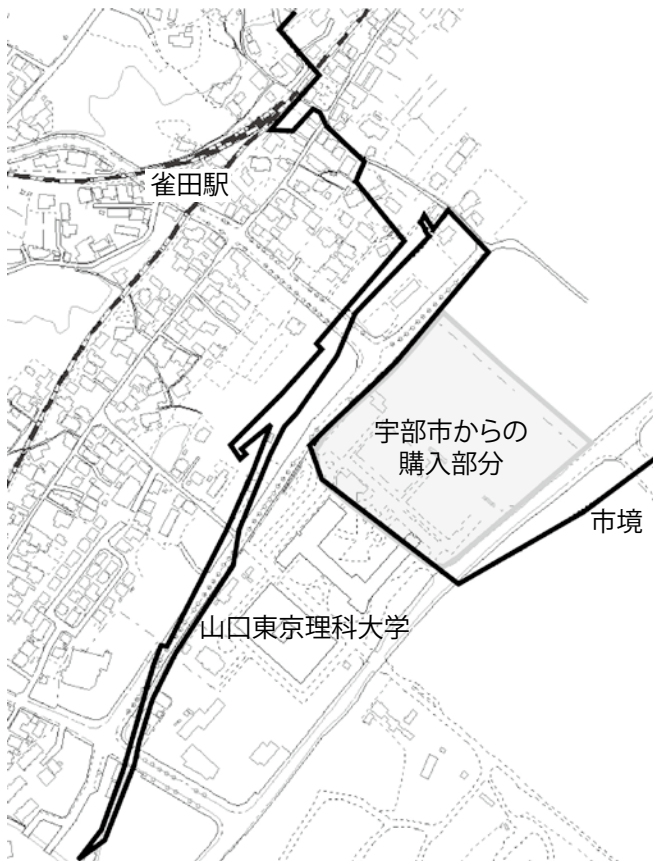
取得金額 4億3950万3622円

この宇部市所有の土地については、山口東京理科大学の公立化後、薬学部校舎等の整備を行う部分を購入することとして、宇部市との間で協議が整っていたものです。

主な論点 「なぜ購入しないといけないのか」との質問に「山陽小野田市立山口東京理科大学となり、国の指導で大学の建物と土地所有者が同一であることが求められたためである」また「売買後の市境の変更は」との質問に「一般的には山陽小野田市域になるのが自然と思われるが、市境の変更は普通交付税等の財源を含め大きな問題なので、今後相手方と慎重に話を進めていく必要がある」との答弁がありました。

討論では、「市民に対して説明責任を果たしていない」との反対討論がありました。

結果 賛成多数



土地購入費の補正予算に対し、一般会計予算決算常任委員会から附帯決議が提出され、全会一致で可決されました。

【附帯決議】

山口東京理科大学周辺地区には、宇部市域が地形地物に関係なく細長く存在し、大学のあるまちにふさわしい文教地区づくりに支障となっている。

ついでには、このたび宇部市から購入する予定の大学用地を含め、当該部分を本市域に編入するよう努めること。



一般質問

市長の政治姿勢を問う

下瀬俊夫 議員

問 12月議会以降、市職員のベトナム出張に関連して職員の綱紀肅正を問題にしてきました。この間、事実関係の調査や疑惑解明がまともに行われていないのは、白井市長がその責任を放棄し、疑惑の職員を保護しているように見えるのはなぜか。

答 事実関係の調査をした結果、職務や地位を私的な利益のために使うなどの不正行為の事実はなく、公正に処分も行っている。



水道事業の今後の取組は

小野泰 議員

問 アセットマネジメント結果における更新需要への対応はどうか。広域に対する影響、特に宇部市の更新需要は把握しているのか。

答 本市の更新需要額が合計で403億5374万円となり、80年周期の長期的な更新をする場合、毎年平均6億2150万円が必要となるので、補助金や交付金の有効活用や経費削減を図る予定である。宇部市の更新需要額737億円は独自作成であり、同一基準ではないと思われる。問題が起きないように精査したい。



豊かな水を育む
厚東川

少年の更生に就労支援を

中村博行 議員

問 保護観察処分が解除になった少年の更生のため、市が就労支援をしてはどうか。市内には、処分解除の少年を雇用する協力雇用主登録事業所が20余りある。市がその範を示してはどうか。

答 就労に向けた訓練や研修を受けることによって、継続した自立支援を行うことは重要であるが、対象者に対する配慮や雇用条件など、制度として明確に定める必要がある。まずは保護司会など関係機関と協議し、検討したい。



地方公会計制度の取組

岩本信子 議員

問 29年度までに、地方公会計制度が導入されることになっているが、その目的と活用はどうか。また導入の問題点は。

答 公会計制度を導入することで、資産・負債のストック情報や減価償却費等のコスト情報の把握ができ、予算編成や行政評価また決算情報の見える化、公共施設のマネジメント等に活用する。課題としては、現金主義会計の単式簿記から、発生主義会計の複式簿記となることにより、財務書類を作成・分析・活用するためには全ての職員が基本的な知識を習得する必要がある。



一般質問

観光推進の具体策は？

杉本保喜 議員

問 観光ボランティア育成の具体的な戦略プランを問う。

答 まちあるき観光ボランティア育成については、検討中である。また、ビジターセンター設置は、どこにするか検討中であるが、大きなビジターセンターを補完するという意味で、ミニ観光案内所という形の市内の施設や個人商店を含めたもので対応できるよう接客の研修を含めた計画を進めていきたい。



山陽小野田市観光
検定ガイドブック

空き教室に児童クラブを

河野朋子 議員

問 児童館と児童クラブはそもそも設置目的が違うが、小野田地区では児童館の中に児童クラブがあり、児童クラブの子どもたちが増えたため、特に夏休みなどは児童館本来の機能に支障が出ている。学校の空き教室を利用して、夏休みだけでも児童クラブを空き教室に移動するなど、もっと各課で連携して取り組むべきではないか。

答 空き教室の活用は、総合教育会議でしっかりと協議し、市長としても意見を述べようと考えている。



須恵児童館

市長4期は長期在任か？

大井淳一朗 議員

問 自治基本条例案には「市長は、長期在任による市政活力の低下等を招かないように努めなければならない」という規定が存在していた。市長は長期在任についてどのように考えているのか。

答 大国の大統領は2期8年と決まっている。地方は3期12年、場合によるともう1期ぐらいい延びるのかなという感じがする。5期、6期は長すぎる。そのことからすれば、一応ぎりぎりのところで自分は立たされていると思う。



次の市長は？

移住・定住対策の強化を

笹木慶之 議員

問 地方創生総合戦略については、本市の特性、地域の実態に応じた処方箋が必要である。市の周辺部には、中心部と異なる課題があり、他市においては多様な対策に取り組んでいる。周辺部が疲弊しては、市全体の活力が失われる。本市は対策が示されていないが、その対応について伺う。

答 まだ、本市では具体的な策に至っていない。転入奨励金の分析からも中山間地域への転入は非常に少なく、その実態に危惧している。今後どのような政策が必要か検討する。



一般質問

足りないと思っているんですよ！

吉永美子 議員

問 市の防災行政無線が聞こえないとの市民の声を受け、昨年の9月議会で音声自動応答サービスの導入を提案した。その検討状況と、防災行政無線の数が防府市の60カ所に対し、本市が4カ所しかないことをどう考えるか聞く。

答 音声自動応答サービスは市民への情報伝達手段として一定の評価はできるが、取り急いで導入する考えはない。防災行政無線が不足している認識は同じである。防災体制の見直しが必要で早急に必要と時期に来ていると考えている。



防府市の15分の1しかない防災行政無線

保育所の待機児童をなくせ

中島好人 議員

問 兄弟と同じ保育所に希望するための待機児童は、国基準では、自己都合とされ、待機児童にカウントされない。実態に即しての待機児童は、27年8月時点で32人が待機児童となっている。待機児童解消のためには、認可保育所の建設が必要ではないか。

答 国基準では、待機児童ゼロだが、実態では待機児童が発生している。その解消については、国の動向を見ながら対処する。保育所建設は、事業所と協議しながら考えたい。



災害時はわが身の安全を第一に

長谷川知司 議員

問 災害発生時に最初に行うのが、自助というわが身の安全確保である。次に、家族や隣近所などでの共助である。市役所などの公助は、災害緊急時には当てにならないと考えないといけない。共助のためには、日頃の地域での人間関係が大事であるが、行政は地域の関係をどのように確保していくのか。

答 いざという時は、自分とその周りの人との関係が大事である。今後も地域づくりのお手伝いを続けていく。



体育館（講堂）に空調設備を

矢田松夫 議員

問 多様な活動のニーズに合わせたと言われる厚狭地区複合施設は、機能や用途の利便性に欠け、利用者側に立っていない。特に旧厚狭公民館の「講堂」である体育館に空調設備を設置し、利用者協議会団体等の要望の声に、市長は軸足を置くべきではないか。

答 空調設備の可否については検証・調査中だが、使い勝手、それを大切にする軸足は、利用者側に置いている。



空調設備が望まれる体育館



一般質問

小規模校はこれからどうなるの！

松尾数則 議員

問 小学校の小規模校における今後の取り組みはどうか。

答 適正規模の確保は重要な問題である。目指すのはクラス替えができる状況が望ましい。ただ他校から希望者を募り、小規模校に登校させる特認校制度、学校選択制、学校区の再編については研究中であるが、現時点で導入の予定はない。ただし厚陽小中学校については、教育課程の特例制度を活用し、特色ある学校として希望により他地区からも通学できることを検討している。



旧山陽道（江戸往還）の活用を

河崎平男 議員

問 本市には、古くから都と大宰府を結ぶ古い街道がある。その中でも歴史遺産として残っている旧山陽道（江戸往還）を整備し、観光資源としての活用を考えてはどうか。

答 旧山陽道は、古くからの往路であり、厚狭と埴生には駅家が配置され、交通の要衝であったことは承知している。今後、旧山陽道の全容把握に努め、看板の設置等を計画的に推進する必要があると考える。また、魅力ある観光資源として捉えているので、古地図を活用し、事業実施を予定している。



七日町にある吉田道と
はぶ道の分岐道標

熱中症対策に対する取組はどうか

岡山 明 議員

問 熱中症の発生状況はどうか。また熱中症を災害として認知し、対策に取り組む考えはどうか。

答 宇部・山陽小野田消防局での熱中症による緊急搬送数は、4月から8月末までの管内の搬送者数は21名で、去年は24名であった。市内では今年8月に60代男性が熱中症により亡くなられたが、統計のある2009年からは初めてである。まずは予防が重要だと考えている。毎年6月頃から、市広報などを通じて熱中症の正しい知識の普及啓発・注意喚起を行っている。



独居高齢者を見守るシステムを

山田伸幸 議員

問 独居高齢者が誰にもみとられずに発見される事例が相次いでいる。確実に機能する見守りのシステムが必要ではないか。市が大家の市営住宅に、機械を使ったシステムを導入できないか。

答 ライフライン事業者と協定を結び情報の連携を図る基本項目を定めている。社協では「どうしちよるネット」を構成して高齢者の訪問などを行っている。必要な高齢者には緊急通報システムがある。市営住宅には対策を持ち合わせていないが検討する。



議決結果

◎議案に対する議員の賛否状況

9月定例会で議案等28件を審議し、賛否の分かれた13件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成28年9月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																			
		石田清廉	伊藤實	岩本信子	大井淳一朗	岡山明	小野泰	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	下瀬俊夫	杉本保喜	中島好人	中村博行	長谷川知司	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	尾山信義
平成27年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成27年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成27年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成27年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成27年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
平成27年度山陽小野田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成27年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成27年度山陽小野田市病院事業決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成27年度山陽小野田市水道事業決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算(第5回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
土地の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 —：棄権又は欠席

尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

石田清廉議員は監査委員であるため決算認定の採決には加わりません。



ニュース

おいでませ山陽小野田市議会へ

行政視察受け入れ状況

この秋も全国各地の議会から、議会改革や情報発信の取り組みなどについて視察に来られました。

議員が交代して視察対応を行っており、他の議会の状況についても学んでいます。

月 日	自治体	内容
10月18日	山口県長門市	議会改革
10月19日	香川県丸亀市	豪雨災害対策
10月26日	兵庫県たつの市	議会報告会
11月1日	大分県杵築市	情報発信
11月14日	長野県長野市	議会改革

ニュース

議員の資質向上のために

山口県市議会議員研修会

8月17日(水)岩国市民会館で行われた市議会議員研修会に17名の議員が参加しました。

「公会計財務書類の更なる活用」をテーマに、今後は統一的な基準による財務書類を作成するだけではなく、しっかり活用して地方公共団体の限られた財源を「賢く使う」ことが求められていることを学びました。



研修会の様子

お知らせ

12月定例会会期日程(予定)

本会議の日程

12月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

開会時間は午前10時です。

(一般質問は午前9時30分から)

月 日	本会議
12月6日(火)	議案上程・説明
12月14日(水)	一般質問
12月15日(木)	一般質問
12月16日(金)	一般質問
12月19日(月)	一般質問
12月22日(木)	質疑・討論・採決

編集室より



寒さが増してきましたがいかがお過ごしでしょうか。広報広聴特別委員会では、議会が終わった直後から議会だよりの編集に取りかかり、さらに議会報告会の準備もしています。そして編集が終わると、すぐに次の議会が始まります。その合間に、他議会との交流や研修などが入ってきます。市民の皆さんのために役立つ議会に向けて頑張っていきます。

◎広報広聴特別委員会

委員長 長谷川 知司 副委員長 河野 朋子
 委員 大井 淳一朗 委員 笹木 慶之
 委員 下瀬 俊夫 委員 中村 博行
 委員 矢田 松夫 委員 山田 伸幸
 委員 吉永 美子



《表紙の説明》 長門市議会議会改革特別委員会の皆さんが本市議会に視察に来られ、意見交換を行いました。長門市議会では議会基本条例を制定したばかりで、本市の議会改革に熱心な質問が出され、良い交流ができました。